



理 念

患者中心の最善の医療の実施

勤労者に対する総合的な医療の実施

地域における救急・急性期・高度先進医療の実施

Contents

整形外科・脊椎外科…………… 2

関東労災病院糖尿病内分泌内科…………… 3

総合内科
専門医による感染症、膠原病診療…………… 4

インターネットを利用した
オンライン予約サービスのご案内…………… 5

整形外科・脊椎外科

スタッフ

統括部長	岡崎 裕司 (一般整形・イリザロフ法・脚延長・難治骨折・骨髄炎)
第二整形外科部長	夏山 元伸 (膝関節鏡)
第三整形外科部長	兵頭 晃 (人工関節外科・外傷)
第四整形外科部長	小林 康一 (手外科・再接着)
脊椎外科部長	渡邊 健一 (脊椎外科)
副部長	吉井 祥二 (人工関節外科・外傷) 安部 博昭 (脊椎外科) 深沢 克康 (手外科・再接着) 東川 晶郎 (脊椎外科)
医員ほか	河野 龍太 小林 洋介 大塚 弘剛 熊本 久大 西本 雄飛 関屋 辰洋 森島 拓 三宅 良子 紺野 智之 鮫島 慎 下園 由康



概要・特色

整形外科は各々専門を持った5名の部長と4名の副部長を軸に、整形外科専攻の後期研修医を含めると20名の体制で、院内のスポーツ整形外科、リハビリテーション科など関連の深い科にいる整形外科医とも緊密に連携し、日夜診療に当たっている。また、地域の多くの医療機関とも連携を取りながら地域支援病院として、外傷救急医療にも急性期病院として積極的に取り組んでいる。

四肢・脊椎の骨折、軟部組織損傷などの新鮮外傷をはじめ、特に手指の外傷における超マイクロ技術を駆使した再接着には力を入れている。また、創外固定器を用いたイリザロフ法は新たな手術法として昨年度より難治性骨折などの陳旧性外傷にも導入している。膝関節、股関節の変性疾患や関節リウマチなどの慢性関節疾患への人工関節置換術も安定した成績を残しており、近隣からの紹介ばかりではなく広く県内外からも患者さんが訪れている。椎間板ヘルニア、腰部脊柱管狭窄症などの脊椎疾患もマイクロ下の手術を行い、インストルメンテーションなども安定した成績を残しており、関節同様多くの患者さんのニーズに応えるべく努力を重ねている。

もちろん、数は少ないが良性骨軟部腫瘍、小児整形外科なども含めた広範な整形外科疾患に対して、保存的療法や手術療法も駆使している。そして、先進医療も含めた日本整形外科学会のガイドラインに沿った標準的治療を行っている。

また、術後は早期の回復期病院への円滑・緊密な地域医療連携を行い急性期病院の役割を果たす努力も行っており、近隣の先生方への更なる情報フィードバックも今後の課題として取り組んでいきたい。

より専門性の高い診断・治療が必要な場合は関連大学である東京大学、横浜市立大学、昭和大学や近隣の大学附属病院などにも積極的に紹介している。

最後に、隔月ながらスポーツ整形外科とともに地域の開業医の先生方とカンファランスを行っている。内容的には紹介患者さんのその後の経過報告や、診断や治療を気軽に相談できる症例の検討会であり、皆様のご参加を心よりお待ちしております。

関東労災病院糖尿病内分泌内科

スタッフ

部 長	浜野 久美子 (日本内科学会認定医、日本糖尿病学会専門医・指導医、日本内分泌学会 専門医・指導医、日本抗加齢医学会専門医、日本病態栄養学会学術評議員 日本甲状腺学会、日本フットケア学会、米国糖尿病学会)
常 勤 医 師	鈴木 淳 中平 育恵
非常勤医師	2名

日本糖尿病学会教育認定施設

特 色

糖尿病診療における基幹病院の機能を果たすべく教育・合併症診断治療・臨床研究の充実をめざしている。糖尿病治療は血管治療といっても過言ではないが、当院は循環器科、腎臓内科、脳外科、形成外科など高水準の診療科との院内連携がスムーズに行われている。

専門外来の機能を発揮できるよう初診のかたは時間をとって診察できる予約枠を設定、安定したかたは地域の連携施設に積極的にご紹介している。ご紹介後は年一度のフォローアップ外来を設け、画像・生理検査、治療見直しなどを行っている。教育入院は血糖管理に必要な時間も見越し7泊8日とやや長めであるが、全身血管合併症チェックに加えフット、オーラルケアを含めたきめ細かい指導を行う。CGM（持続血糖モニター）を保有し妊娠糖尿病、不安定糖尿病やインスリン療法（CSII含む）の見直しに有用性を発揮している。



総合内科 専門医による感染症、膠原病診療

スタッフ

部 長	金井 隆之						
副 部 長	岡 秀昭	浅野 仁					
常 勤 医 師	森澤 智子	比嘉 令子	石井 宏志	前田 正	三木 智子		
非常勤医師	2名						

総合内科では感染症専門医、リウマチ専門医による外来診療を行っております。

特に不明熱診療に力を入れており、各専門医の協力のもとで不明熱の診断率は極めて高い成績を挙げております。原因不明の発熱、原因不明の炎症所見高値、リンパ節腫大、関節痛、体重減少などの患者様がおりましたら当科へご紹介ください。

■ 本年度当科にて診断した不明熱

感染性心内膜炎、粟粒結核、肝膿瘍、肺膿瘍、偽痛風、関節リウマチ、リウマチ性多発筋痛症、皮膚筋炎、血管炎、壊死性リンパ節炎、成人スチル病、慢性疲労症候群、HIV、薬剤熱

当科の感染症専門医は横浜市立大学、神戸大学病院感染症科にて本邦ではまだ希少である米国式臨床感染症のトレーニングを修了しており、様々な感染症の診療経験を有しております。感染症につきましては、1, 2種指定感染症を除くいかなる臓器の感染症も当科の守備範囲ですので、治療に難渋される感染症も是非ご紹介ください（1, 2種指定感染症、排菌性の結核が明らかな場合には指定医療機関へのご紹介をお願い申し上げます）。リウマチ膠原病を疑われる症例もまずは当科へご紹介ください。

■ 本年度当科にて入院加療した感染症

敗血症、呼吸器感染症（細菌性肺炎、肺膿瘍）、尿路感染症（急性腎盂腎炎、急性前立腺炎、急性精巣上体炎）、腹腔内感染症（骨盤内炎症症候群、細菌性腸炎、肝膿瘍、憩室炎、虫垂炎蜂巣炎）、中枢神経感染症（無菌性髄膜炎、結核性髄膜炎）、皮膚感染症（蜂巣炎、糖尿病性壊疽）、骨髄炎、化膿性関節炎、感染性心内膜炎（自然弁、人工弁）、播種性クリプトコッカス症、ニューモシスチス肺炎、腸腰筋膿瘍、粟粒結核、HIV

■ 感染症に対する当院の試み

総合内科では感染症診療に加え、ICT(感染管理チーム)の業務として、院内における感染症治療コンサルト業務、抗菌薬適正使用に対する啓蒙指導活動に参加しております。

感染症治療コンサルテーション業務は各専門診療科にて生じた感染症をコンサルテーションや介入を通じて、主治医とのチーム医療を実践し最善の感染症診療を提供できるよう努力する試みです。欧米の病院では以前より通常に行われている業務でありましたが、近年になり本邦でも注目されており、感染症対策に対する病院機能評価項目の一つとなっております。

抗菌薬適正使用の試みとしては一部の抗菌薬にコンサルテーション制を導入しており、専門医の指導のもと厳格な抗菌薬治療が行われております。

結果として当院は全国病院の平均と比較しても、緑膿菌、アシネトバクター、黄色ブドウ球菌など院内感染の脅威となる細菌の薬剤感受性が大変に良好であり、耐性菌の少ない病院となっております。

当院へ入院される患者様に対し、最善かつ安心の感染症診療と対策をご提供できるよう努力しております。

インターネットを利用したオンライン予約サービスのご案内

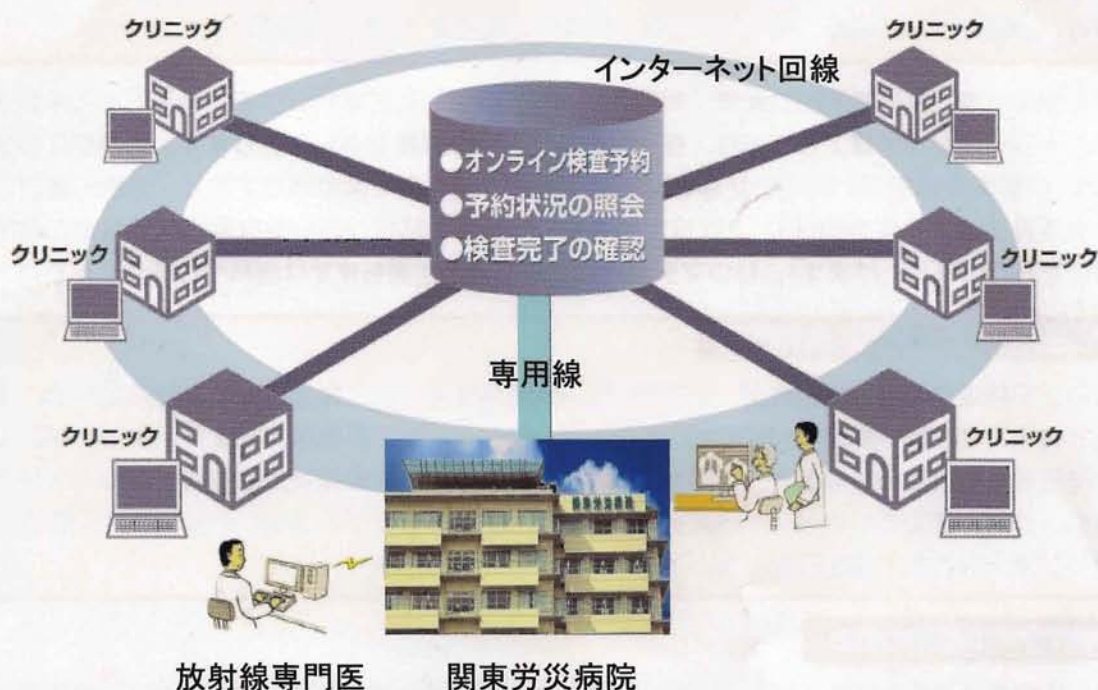
■ オンライン予約サービスとは

オープンなインターネット環境により地域医療機関との多彩な連携を支援するオンライン予約システムのことで、24時間簡単かつ、確実に予約ができます

当院では、厚生労働省の政策である“病院と診療所の機能分担(医療連携)”に積極的に取り組んでいます。その一環として、当院では、地域医療に携わるかかりつけの先生が大掛かりな検査や高度な医療が必要と判断された場合に、各種の画像診断を、インターネットで24時間いつでも予約できるシステムを構築し活用しております。

*従来通り電話での予約も可能です。

*地域医療機関からの予約のみとなります。患者様から直接、予約することはできません。



■ オンライン予約システム特徴

時間をかけずに 予約できる システムです

- 365日24時間、電話不要でいつでも簡単に予約ができます
- 患者様のご都合と予約の空き状況を確認しながら予約できます
- 患者様の検査完了がすぐに確認できます

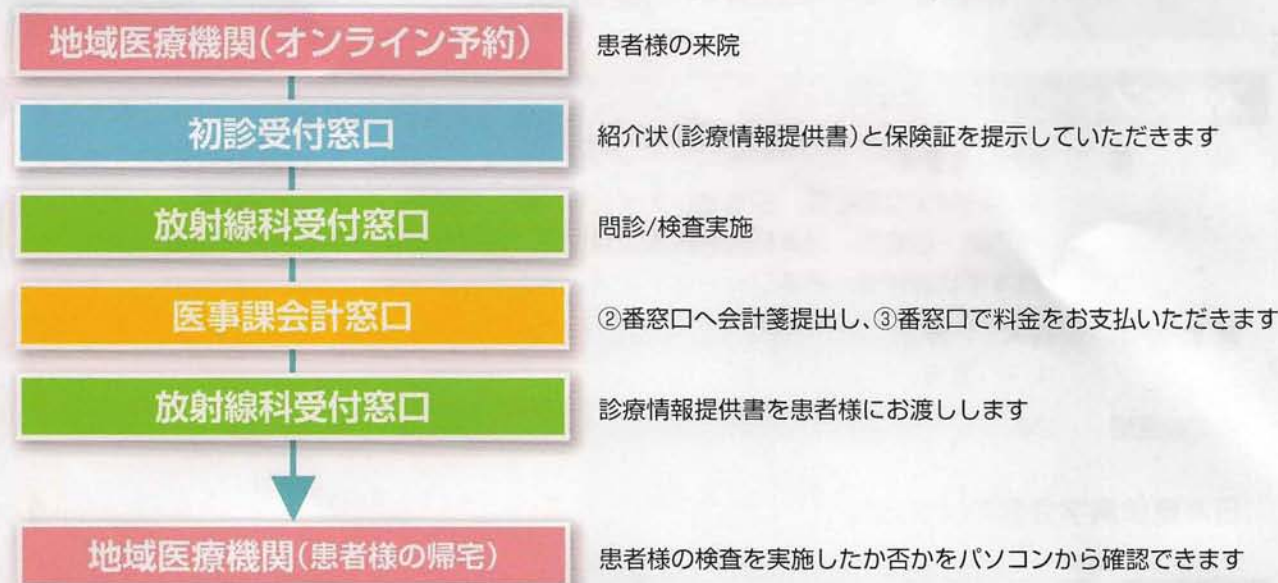
患者様にも 大きなメリット

- インターネット活用により事前にカルテを作成しますので、受付での待ち時間が少なくなります
- 予約制ですので検査待ちの時間が少なくなります

セキュリティは 万全です

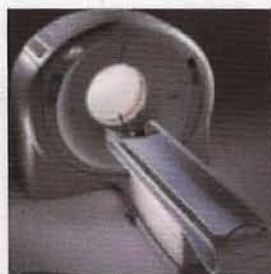
- データセンターの管理により万全のセキュリティ体制です
- クライアント証明書とユーザーID、パスワードにより、個人情報 は完全に保護されます

患者様の動き



予約可能な検査の種類

造影CT、単純CT、MR、頭頸部MR



診療情報提供書（患者情報）

システム上に診療情報提供書の書式がありますので、予約時に患者情報を入力すると、当院でデータを出力することができます。患者様をご紹介いただく場合、診療情報提供書は検査前日までにFAX、もしくはシステム上で送信して下さいますようお願いいたします。

新規登録（ユーザID、パスワードの発行）

検査内容・お申し込みのお問い合わせは下記までご連絡ください

【地域医療連携室】

TEL：044-435-5031

【受付時間】

平日 8:15～17:00（土日・祝日及び年末年始は除く）

ブリッジとは・・・(橋)：医療機関との橋渡し、患者様と医療機関との橋渡しという意味。